



自ら問い、共に創る

副校長 詫間 朋之

『となりのトトロ』や『千と千尋の神隠し』など、世界中で愛される作品を生み出してきたアニメーション映画監督の宮崎駿さんは、創作の本質について次のような言葉を残しています

面倒くさいって自分の気持ちとの戦いなんだよ

面倒くさかったらやめれば？

「うるせえな」って、そういうことになる

世の中の大事なことって、たいてい面倒くさいんだよ

宮崎駿 <プロフェッショナル 仕事の流儀 宮崎駿スペシャル『風立ちぬ』1000 日の記録より>

10 月の合唱コンクールに向けて、校舎には歌声が響いています。しかし、合唱コンクールまでの道のりは決して平坦ではありません。練習を続けること、仲間の声に耳を傾けること、自分の考えを伝えること、意見の違いと向き合うこと。どれも容易なことではなく、「面倒くさい」と感じる場面もあるでしょう。

近年、AI の進歩は目覚ましく、歌い方や練習方法も簡単に調べられる時代になりました。しかし、「この曲で何を伝えたいのか」「どのような合唱を創りたいのか」「この学級らしさとは何か」といった問いに、正解を示してくれる人はいません。

それは、そもそも正解が存在しない問いだからです。

これからの社会では、そのような問いに向き合う場面が増えていきます。学校教育においても、知識や技能を身に付けることに加え、自ら問いをもち、多様な他者と対話しながら答えを創り出していく力が重視されています。先日公表された 次期学習指導要領等に向けた審議まとめ(素案)においても、「自らの人生や社会をよりよく創っていく力」や「多様な他者と協働しながら学ぶこと」の重要性が示されています。

合唱コンクールには、その学びの本質があるように思います。

合唱には唯一の正解がありません。だからこそ、「もっと思いを伝えるにはどうしたらよいだろう」「自分たちらしい合唱とは何だろう」「聴く人の心に届く表現とは何だろう」と問い続けるのです。

試してみる。うまくいかなければ考え直す。また挑戦してみる。

その試行錯誤の過程で仲間と対話しながら、自分たちなりの答えを創り上げていくのです。

同じ曲であっても、学級によって表現は異なります。力強さを大切にする学級もあれば、言葉を丁寧に届けようとする学級もあるでしょう。その違いこそが学級の個性であり、自分たちなりの答えです。

これからの時代に求められるのは、「正解を探す力」だけではありません。「自ら問い、仲間と共に答えを創り、さらに新たな問いへと挑み続ける力」です。

合唱コンクールに向けた日々の練習の中では、思うようにいかないこともあるでしょう。考えがぶつかるともあれば、「もう面倒くさい」と感じることもあるかもしれません。しかし、そんなときこそ問い続けてほしいと思います。

「もっとよくするにはどうしたらよいだろう」「この学級だからこそできることは何だろう」

誰かが用意した正解を待つのではなく、自分たちで考え、自分の考えを大切にしながら仲間の考えにも耳を傾ける。そして、一人ではたどり着けない答えを創り出していく。

その過程こそが、合唱コンクールの価値であり、これからの社会を生きるための学びなのだと思います。

本番の日に響くのは、単なる歌声ではありません。仲間と悩み、対話し、試行錯誤を重ねながら創り上げた「その学級だけの答え」です。その歌声が響く瞬間を、心から楽しみにしています。

令和8年度 横浜市立中学校英語弁論大会 本選会

7月21日(火)に横浜市立中学校英語弁論大会の本選会が開催されました。本校の代表として、3年生の生徒が出場しました。皆さんにも紹介させていただきます。

Delivering smiles through sound

Many musical instruments come together to create a song. That's what a brass band is. I play the trumpet among them. Now, I'll tell you about what I learned through my experience playing the trumpet in the brass band.

First, I learned the importance of having confidence. Trumpets are essential instruments for the brass band because they play the main melody. So I should play the trumpet with a clear sound. However, at first, I couldn't play a clear sound on the trumpet because I was afraid I'd make a mistake. But one day, one of my senior members told me, "It's okay to make the wrong sound. Be confident!"

Then, I took the plunge and played the trumpet with confidence. The sound resounded throughout the classroom. At that time, I found to be confident is important. And I also decided, "I will try everything!". That's why I'm here, in front of you.

The second is communication. When we play a song together, we need teamwork. The members around me often talked to me. Thanks to them, I'm truly enjoying playing the trumpet and enjoying the time with them.

Third, I learned "Music can move people's hearts". We sometimes hold concerts and I noticed that after the concerts the audience always looked so happy. Most of them left the hall with smiles on their faces. When I saw that scene, I was very happy and I knew music had great power. Also I could be proud of myself because I could do my best.

For reasons like these, I could learn important things through playing the trumpet.

Now, we are practicing a new song with the members of our brass band club and I will continue to do my best.

Are you interested in playing a musical instrument? If your answer is "Yes!", I recommend you to try it. I'm sure you'll learn many things through it. Even if your answer is not "Yes", I want you to know the joy of the brass band. It may change you, because "Music can move people's hearts".

Thank you for listening.

私は吹奏楽で楽器を演奏する経験を通してたくさんのことを学びました。あなたも楽器を演奏してみませんか。「音楽は人の心を動かすことができる」ので。

令和8年度 全日本中学校英語弁論大会 神奈川県予選

7月23日(木)に横浜市立中学校英語弁論大会の本選会が開催されました。本校の代表として、3年生の生徒が出場しました。皆さんにも紹介させていただきます。

One hundred different stories

Players pick up one card from a hundred cards in an instant. This is Hyakunin-isshu. Perhaps you know it was made by Fujiwara no Teika about 1000 years ago, in the Heian era. In the official rules, it is a match between two players. 25 cards are put in front of each side. There is one poem per card, but only the latter half of the poem is written on the card. A reader reads it aloud as if chanting. Before and after the tournament players greet each other because when we play Hyakunin-isshu we have to be polite. The atmosphere is very quiet and tense.

Now I'll tell you three charms of Hyakunin-isshu. First, it's a match. We have some techniques to win. Kimariji is one of them. If you know Kimariji, you can know which card to pick up from the first sound. For example, there are 17 poems which start with the "A" sound. Two poems start with "Aki". What is the next sound? It's "no" or "ka". Then we can know the card to pick up. We don't have to wait for the reader to finish reading if we know it. How long does it take a player from hearing the sound to picking up the card? It only takes 0.1 seconds! A professional player may pick up the card while you blink. That's amazing.

Second, though the poems are very old, we can sympathize with them. They wrote poems about love, the beauty of the seasons and so on. "Hisakatano hikarinodokeki harunohini sizugokoronaku hananochiruran" – this is one of my favorites. That means, "everything is peaceful on a beautiful spring day, but only the cherry blossoms are hurrying to fall". Have you ever thought why the good time always passes so quickly? This is the meaning of the poem. It's deeply moving to think that people 1000 years ago thought the same way we do. It has 100 poems, so you can find the poem that touches your heart. "Hisakatano---" is the card I would definitely pick up and I always grab it faster than anyone else. Everyone has the card like that, so they grab the cards at the speed of a bullet train.

Last, it's a game anyone can enjoy. Another favorite poem of mine is "Akikazeni---". I liked it not because of its meaning, but because of the feel of the characters. One of my friends likes "Konotabiwa—" because she likes the sound of the last phrase, "manimani". Like that, you can enjoy it in many ways. Also, you can enjoy "Bouzu-mekuri", the game using the pictures on the cards. It's a very simple game and everyone can enjoy it. Please enjoy it with your family, relatives, or friends on New Year's day.

Now, you probably see the attraction of Hyakunin-isshu, don't you? I'm proud that we, Japanese have such a wonderful culture.

It's OK if you can't do it well from the beginning. Why don't you start by looking at the cards or playing a game of "Bozu-mekuri"? I'm sure you'll be crazy about it someday.

Thank you for listening.

百人一首は勝負の楽しさや和歌の魅力を味わえる日本の素晴らしい伝統文化であり、誰でも気軽に始められるので、多くの人に親しんでほしいです。

横浜子ども会議 旭区交流会

毎年、8月末に開かれる「横浜子ども会議」に旭中学校からも代表生徒が参加しています。この「横浜子ども会議」は、子どもたちが「いじめ」を自分たちの問題として捉え、だれもが安心して生活できるいじめが起これにくい子ども社会を作ろうとする意欲を引き出すこと、よりよい生活や人間関係を築こうとする子どもの自主的・実践的な態度を育むこと、会議内容を日常の活動につなげることを目的として毎年行われています。

氏名や写真は、
個人情報により
掲載しません

今年は旭中学校生徒会本部役員である3年生と2年生の生徒2名が旭公会堂にて「いじめをしない自分であるために～つながる、広げる、いじめの未然防止の輪～」をテーマに話し合いを行いました。以下2名の振り返りの内容をまとめた文章です。

交流会では、「友達が嫌な思いをしているとき」「自分が嫌なことをされたとき」「先生や地域の大人にできること」などについてグループで意見交換を行いました。参加した児童は、困っている友達に声をかけたり、相手の気持ちを考えて行動したりすることの大切さについて考えを深めました。

また、他校の児童との話し合いを通して、多様な視点や取組を知ることができ、「相手を理解しようとする気持ちが大切」「一人で抱え込まず周りに相談することが必要」など、多くの学びを得ることができました。

今回の交流会で得た気付きや学びを学校に持ち帰り、だれもが安心して過ごせる学校づくりにつなげていきたいと思います。代表児童の真剣な話し合いの姿からも、いじめの未然防止に向けて一人ひとりができることを考える大切な機会となりました。

服装について

本校では衣替えの期間は、特に設けておりません。登下校時や授業中等の服装については、気温や体調などを考慮しながら、学校のルールの範囲内で、適宜ご家庭でご判断いただき、お子さん自身が身体のことを考えながら、適切に対応できますよう、ご協力よろしく申し上げます。なお、令和8年度の服装のルールは次の通りです。

Ⅱ 服装

※生徒証より

1. 学校生活に必要不可欠ではないものは、安全上や器物破損の観点、入試禁止事項などを踏まえ、身に付けたり使用したりしません。
2. 学校では、標準服または体育用ジャージを着用します。ジャージの中は、学校指定の体操着を着用します。
3. 靴は運動靴または革靴です。
4. 儀式的行事や定期テストなどの際には、標準服を着用します。

○詰襟の標準服

詰襟の上着に学生ズボン、白のワイシャツを着用します。暑い時は、上着を脱いでかまいません。

儀式的行事や定期テストのときは、上着のボタンは全てしめましょう。詰襟の左襟に校章をつけます。

○セーラー服の標準服

学校指定のセーラー服、ジャンパースカートを着用します。暑い時は、ジャンパースカートに白のブラウスやワイシャツでかまいません。左胸に校章をつけます。

○ブレザー

学校指定のブレザーを着用します。ネクタイは着用しなくてもかまいません。暑い時は、上着を脱いでかまいません。スラックスとスカートの選択は自由です。スラックスとスカートに関しては、指定品でなくても色や形など同等の物であれば着用してかまいません。

○セーターやカーディガン

寒い時に、詰襟の標準服やブレザーの場合は、ワイシャツの上にセーターやカーディガンを着用できます。

〔詰襟の標準服やブレザー〕：ワイシャツの上に着用 〔セーラー服の標準服〕：セーラー服の上色は、黒や紺、茶色やグレーなどの落ち着いた色で無地のものにしましょう。

式典では、セーターやカーディガンは着用しません。

※防寒具について

寒い時期には、トレーナー等やウィンドブレーカー等の防寒具を着用してもかまいません。ただし、トレーナー等は体操着の上に着用し、その上に体育用ジャージを着用すること。ウィンドブレーカー等は体育用ジャージの上に着用すること。フードが無いものが安全上望ましいです。

栄光を讃える

県

○神奈川県中学校サッカー大会 第3位

○神奈川県中学校選抜陸上競技大会 走高跳 第8位 2年 男子

市

○横浜市カデット夏季卓球大会

男子団体戦	2ブロック	第3位		
2年男子個人戦	1 3ブロック	第1位	2年	男子
	4ブロック	第3位	2年	男子
	7ブロック	第3位	2年	男子
	1 6ブロック	第3位	2年	男子
	1 8ブロック	第3位	2年	男子
1年男子個人戦	1 2ブロック	第3位	1年	男子



○横浜市中学校総合体育大会 陸上競技の部 砲丸投 第2位 3年 女子

○横浜吹奏楽コンクール 中学生の部 B部門 銅賞

区

○旭区 陸上競技大会

男子総合	優勝	男女総合	準優勝	女子総合	第3位
個人種目	優勝				
	3年 女子 (800m)		3年 女子 (砲丸投)		
	3年 男子 (400m)		3年 男子 (100m)		
	2年 男子 (走高跳)		2年 男子 (200m)		
	準優勝				
	3年 男子 (走高跳)		2年 男子 (110mH)		
	1年 女子 (100mH)				
	第3位				
	3年 男子 (走高跳)				



○旭区 中学校秋季剣道大会 男子団体 優勝

○旭区 中学校秋季バドミントン大会

シングルス	第3位	2年 女子	
ダブルス	第3位	2年 女子	、2年 女子
	第4位	2年 女子	、2年 女子

○旭区 中学校秋季バレーボール大会 準優勝

10月の主な行事予定

4組合同体育祭

朝会（後期認証式）

3年保護者進路説明会

文化発表会

3年進路面談